

当事者共生事業 “ななかまど Project” 報告

担当者: 秋山 満

●概要:

HIV 陽性者とその家族・パートナー・周囲の人の精神的な支えとなり、地域に根ざした情報を提供していくことを目的に

○HIV 陽性者のための面談ルーム 「くれば一緒に」 を実施している。

また、北海道 HIV 陽性者ピアグループミーティング事業「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」を2014年6月より定期開催。

※2023年度も日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をいただいた。

●目的:

北海道に暮らす HIV 陽性者が「今よりもっと元気になるために必要としていること」を共に考え、形にしていく。

●経過:

- ・ 「くれば一緒に」 予約制 毎月第2・第4日曜日 13:00-15:00
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 偶数月第3土曜日開催 2023年度は全てを札幌で開催
期日 4月15日・6月17日・8月19日・10月21日・12月17日・2023年2月17日

●結果・効果:

- ・ 2023年度において「くれば一緒に」の利用は無かった。
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 2023年度の参加延べ人数は19名となり、これまでの開催50回で参加延べ人数は440名となった。(昨年度は全3回で20名)
4/15:5名、6/17:5名、10/21:4名、2/17:5名)

●課題:

- ・ 「くれば一緒に」の利用についてはここ数年ゼロの状態が続いている。事前予約をした上で対面での相談というハードルもあるため、今後はzoomなどのwebコミュニケーションツールを活用したオンライン相談や、事前に日時を定めて実施するオンライン相談会についても検討をしていきたい。
- ・ 2022年度にはじめて実施した「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」の地方開催については、スタッフの減少により開催を見送った。2024年度についても同様であり、今後スタッフの増員・育成が急務となっている。
- ・ コロナ禍が明け参加者数の回復を見込んでいたが、想定を大きく下回り、2023年度においても8月・12月は参加申し込みが少なく中止とした。行動制限がなくなりこれまで利用していた参加者の卒業などが要因として挙げられるため、2024年度はフライヤーを製作し、保健所・拠点病院へ「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」開催について改めて周知を図り、新規利用者の開拓につなげていきたい。
- ・ また、HIV 陽性者の総合情報サイトであるFutures Japanのイベントページに全国で開催されるピアミーティングについての情報が掲載されている。昨年11月に全国 HIV 陽性者ピアサポート円卓会議がオンラインにて開催され、そのURLをQRコードにして印刷した資材をぶれいす東京様に作成し、全国の保健所・拠点病院等へ配布することとなっている。
- ・ HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO については2024年度も、日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をご了承いただいている。